

問1 日本の農業試験場では、水田に複数の品種名が書かれた立て札を立て、それぞれの生育状況を比較する試験栽培が行われています。東北地方において、このような研究が特に重視されてきた地理的・気象的背景を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 夏季に太平洋側から吹き込む冷たい風によって発生する冷害の影響を最小限にするため。
2. 冬の季節風がもたらす豪雪による農作物の倒伏を防ぎ、収穫時期を春先に早めるため。
3. 越後山脈を越えて日本海側に吹き下りる乾燥した高温の風による干害を防ぐため。
4. 梅雨の時期に雨が降らない空梅雨（からつゆ）による深刻な水不足を克服するため。

問2 東北地方の気候と農業に関する説明のうち、太平洋から陸地に向かって吹く北東風の性質と、その地形的な影響をふまえた記述として適切なものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

1. 夏に南から吹く湿った風が太平洋側に当たること、温暖な気候を利用した稲の二期作が盛んに行われている。
2. 冷たく湿った北東風が奥羽山脈に突き当たることで、山脈の東側にあたる太平洋側で低温や曇天が続く、稲作に悪影響を及ぼすことがある。
3. 冬に太平洋側から吹く冷たい風が山脈にぶつかることで、日本海側とは対照的に、太平洋側の平野部に大雪をもたらす。
4. 湿った北東風が奥羽山脈を越える際に水分を失い、山脈の西側にあたる日本海側で乾燥した高温の風となり、大火災を招く恐れがある。

問3 日本の各県の農業生産額を比較した資料において、ある県（ア）は米の生産が中心であるのに対し、別の県（イ）では米が216億円、野菜が366億円、畜産が454億円という生産額を示していました。この県（イ）と比較した際の、秋田県の農業生産の特徴として正しい説明を選びなさい。 (2019年 秋田県公立入試 類似)

1. 県（イ）は果実の生産が全くないが、秋田県はりんごを中心とした果実の生産額が畜産の生産額を常に上回っている。
2. 県（イ）と同様に、秋田県においても畜産が最大の生産額を誇り、次いで野菜、米の順に生産額が多くなっている。
3. 県（イ）のような畜産中心の構造とは異なり、秋田県では米の生産額が農業生産の大部分を占めている。
4. 県（イ）のような多様な品目の生産は行わず、秋田県では100%すべての農地で米のみを栽培している。

問4 東北地方の気候条件と産業の成り立ちについて述べた次の文章の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方では、降雪により農作業ができない（①）の期間に、（②）が貴重な収入を得るための（③）として漆器などの生産を行い、それが今日の伝統的工芸品へとつながった。」 (2026年 岡山県公立入試 類似)

1. ①冬 - ②武士 - ③内職
2. ①夏 - ②商人 - ③副業
3. ①夏 - ②農家 - ③本業
4. ①冬 - ②農家 - ③副業

問5 宮城県仙台市宮城野区における、1998年と2025年の状況を記録した資料を比較した際、この地域の土地利用の変化について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)

1. 仙台市宮城野区全体において、急速な過疎化の影響で住宅地が激減し、かつての森林や山林が復元される変化が見られた。
2. かつて大規模な建物が立ち並んでいた中野五丁目付近では、自然環境を保護するために広大な田畑へと土地利用が変化した。
3. 港二丁目付近では、1998年時点で存在していた工場が、2025年には神社を中心とした伝統的な集落へと変化した。
4. かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。

問6 東北地方では、かつて内陸部を南北に貫く幹線道路の整備が中心でしたが、近年は日本海側や太平洋側を結ぶ東西方向の路線や、三陸沿岸などの沿岸路線の整備が急速に進んでいます。このような高速道路網の広がりがもたらす効果として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 南北の移動のみが高速化されることで、沿岸部と内陸部の経済的な格差を広げ、地域間の交流を減少させる。
2. 主要な都市が東京と直結されることで、地方都市の機能がすべて都心部へ集約され、地域独自の産業が衰退する。
3. 網目状の交通網が形成されることで、都市間の結びつきが強まり、移動時間の短縮や地域交流の活性化が期待される。
4. 道路の維持管理コストを削減するために、利用者の多い一部の幹線道路にのみ交通を集中させ、移動手段を限定する。

問7 東北地方の伝統文化について、都道府県名とその地域を代表する祭りの内容や特徴の説明として、最も適切な組み合わせを選んでください。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)

1. 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」
2. 岩手県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」
3. 秋田県 — 豪華な吹き流しや短冊などの飾りを竹に吊るす「七夕祭り」
4. 宮城県 — 多数の提灯を吊るした長い竹竿を稲穂に見立てて操る「竿燈祭り」

問8 青森県のねぶた祭、秋田県の竿燈まつり、宮城県の仙台七夕まつりなどの東北地方の夏祭りは、例年8月上旬の同時期に開催されます。こうした各地の祭りを効率よく巡ってもらうために、交通機関や宿泊施設と連携して行われる観光施策の名称として、最もふさわしいものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)

1. 周遊観光の促進
2. 地産地消の拡大
3. 農業労働力の確保
4. 伝統文化の完全独立開催

問9 日本の都市の成り立ちにおいて、歴史的に領主の住む城を中心に家臣や商人が集められて形成された町を何というか。現在の多くの県庁所在地の原型ともなっている。 (2018年 北海道公立入試 類似)

1. 門前町
2. 城下町
3. 港町
4. 宿場町

問10 東北地方の伝統的工芸品のうち、岩手県の盛岡市や奥州市を中心に古くから作られており、鉄を主原料とした鋳物の工芸品を何といいますか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

1. 天童将棋駒
2. 津軽塗
3. 会津塗
4. 南部鉄器

問11 岩手県の南部鉄器においてIH調理器に対応した製品が開発されたり、青森県の津軽塗においてスマートフォンのカバーが作られたりしています。伝統的工芸品の産業において、このような取り組みが行われている背景として最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)

1. 伝統的な技術を守りつつ、現代の生活様式に合わせた製品開発を行うことで、国内外への販路を拡大するため
2. 伝統的な技法を維持するために、江戸時代から続く製品の形や用途を一切変えずに保存することを目的とするため
3. 天然の原材料の使用を全面的に禁止し、現代の工業製品と同じプラスチック素材へ置き換えることで耐久性を高めるため
4. 手作業による工程をすべて廃止し、機械による大量生産に切り替えることで、製品の価格を大幅に下げるため